

36 トサカギンポ

(イソギンポ科)

兵庫県ランク:要調査

Omobranchus fasciolatoceps

環境省ランク:-

種の概要

全長7cm程度。頭頂部に特徴的なトサカ状の突起を持つ。内湾や河口の岩礁、転石のあるような環境に生息する。動物食で、カキ殻などの間を泳ぎながら採食を行う。国内では富山湾から熊本県天草の日本海、東シナ海沿岸、東京湾から土佐湾の太平洋沿岸、瀬戸内海の内湾や河口に分布する。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では、比較的大きな河川の河口の汽水域に生息する。これまでに日本海側の円山川、瀬戸内海側の千種川、揖保川、千種川から確認されているが、個体数は少ない。

保護上の留意点

河口汽水域の環境変化（潮止堤の設置や河岸の単純化）が、生存に対する脅威になると考えられる。臆病な魚で驚くとすぐにカキ殻や転石の隙間に隠れるため、捕獲することが難しい。このため、県内の生息状況が十分に把握されていない可能性がある。

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、赤穂市、たつの市、豊岡市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

